

課題番号：2017-11
研究課題名：新規ヒト血中バイオマーカー（刺激性最終糖化産物：刺激性 AGEs）と一般生化学項目の相関に関する研究
実施代表施設：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 実施責任者：町田 幸子
実施期間：倫理委員会承認後 ～ 2020年3月31日
対象となる試料・診療情報
「臨床検査の測定及び診断技術の向上プロジェクト 検体（診療上の採取血液等）の研究利用についての同意書」により同意の得られた試料提供者の試料・診療情報 <ul style="list-style-type: none"> ■ 血液試料 <ul style="list-style-type: none"> ■ 血清 (西暦 2014年9月29日～2019年8月31日までに保管された試料) ■ 臨床情報（傷病 CD、既往歴 CD、投薬歴、その他、性別、年齢、検査結果）
研究の目的、意義
多様な構造の最終糖化産物(AGEs)の中で、加齢性疾患の危険因子である刺激性 AGEs を判別定量する新手法の有用性の検証、および、刺激性 AGEs をバイオマーカーとして活用可能な対象疾患を明らかにする。
実施方法
加齢性疾患の重篤度、進展段階の異なるヒト血液検体を対象に、①刺激性 AGEs の存在量の差異、②代表的な生化学マーカーと刺激性 AGEs の相関を解析する。